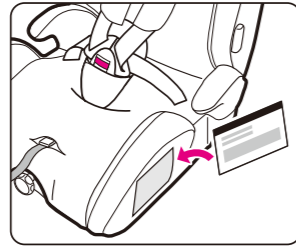


はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。また、取付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。

チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。



ベルト固定式チャイルドシート 型式/1031

UN R44/04 GROUP I, II, III
UNIVERSAL

リーマン株式会社 www.leaman.co.jp
〒496-0911 愛知県愛西市西保町南川原68-1
お客様相談室 **TEL. (0567) 27-0173**
受付時間 月曜日～金曜日（祝日・弊社指定休日は除きます）
AM10:00-12:00 PM1:00-5:00

E43

クイックガイド

本製品の扱い方を



の順で表示してあります。本書の表示とも連動しています。

事前準備

- シートベルトの種類と使用上の注意
- 取付けできない座席
- 各部名称
- お子さまの体重に合わせた使い方
- ご使用上の警告/注意

モードを変更する

- バックルを取りはずす
- 幼児ベルトを取りはずす
- アジャストベルトを収納する
- 背もたれを取りはずす
- リクライニングアームを取りはずす
- チャイルドモードに戻す

お車に取付けて使用する

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| チャイルドモードで使用する | ハイバックモードで使用する | ブースターモードで使用する |
| 1 お車に取付ける | 5 お車に取付ける | 8 お車に取付ける |
| 2 取付けを確認する | 6 お子さまを座らせる | 9 お子さまを座らせる |
| 3 お子さまを乗せる | 7 拘束ポイントを確認する | 10 拘束ポイントを確認する |
| 4 拘束ポイントを確認する | | |

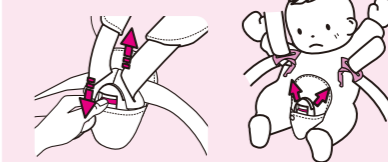
メンテナンス

- カバーの取付け取りはずし
- 洗濯と日常のお手入れ
- 保管/廃棄の仕方

表示マーク この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。	警告 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。	確認 安全のため、必ず確認していただきたいこと。
注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。	アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。	
禁止 図示されている内容の禁止を示しています。		

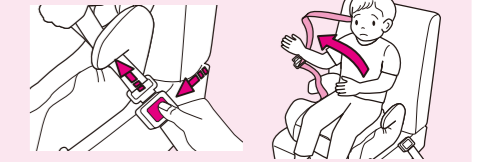
緊急時には・・・ 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。

●チャイルドモード時



バックルの赤いボタンを押し、タンクをはずします。幼児ベルトをお子さまからはずしお子さまを救出してください。

●ハイバック/ブースターモード時



車両バックルの赤いボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトをはずします。



バックルの赤いボタンを押しても、タンクがはずれない場合はシートベルトカッター（市販品）などで幼児ベルトを切断してお子さまを救出してください。



車両バックルの赤いボタンを押しても、タンクがはずれない場合はシートベルトカッター（市販品）などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

事前準備

1 シートベルトの種類と使用上の注意

- 本装置は、UN規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されています。
- 本装置は、認可された車両がUN規則No.16または同等の基準で認可された3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみ適しています。
- 疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。
- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、お客さまの車両（シートベルト）に合った取付け方で装着してください。

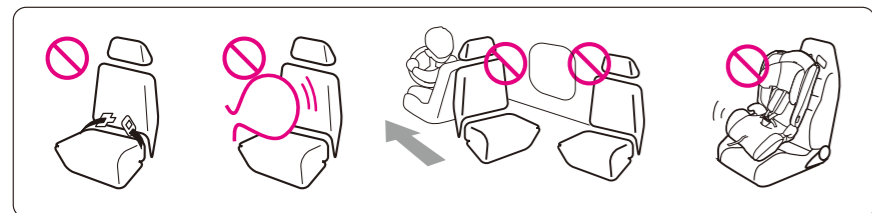
	巻取装置有り						巻取装置無し
	ELR		ALR		NLR		
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側	パッシブ
3点式	○	×	※	※	○	○	×

●取り付け可能な3点式シートベルト

特 徴	本装置の取り付け注意点	
	チャイルドモード	ハイバック/ブースターモード
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取装置	ゆっくと引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックします。 ○ 取扱説明書通り固定してください。	○ 取扱説明書通り固定してください。
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取装置	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなります。（シートベルトを全て巻き戻すと解除されます。） ○ 取扱説明書通り固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR機能を切り換えてください。	▲ シートベルトを全量引き出すとALR機能が働き危険です。ALR機能を使用しないでください。 ○
ALR 自動ロック式 ベルト巻取装置	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。 ○	○ チャイルドシートを固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、固定してください。 ×
NLR	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。 ○	○ チャイルドシートに合わせシートベルトの長さを調節し、取付けてください。
パッシブ シートベルト	座席に乗ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。 ×	×
その他の シートベルト	表記されていないものすべて。 ×	×

2 取付けできない座席

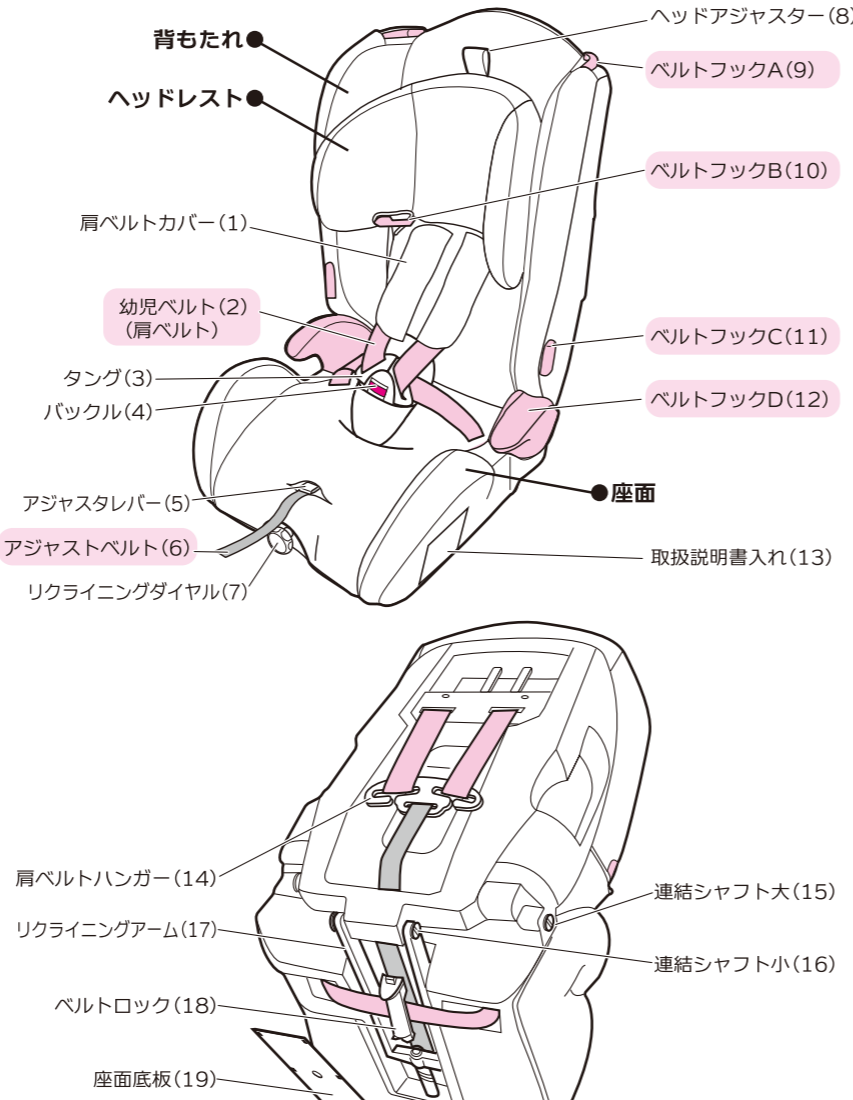
- シートベルトの付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- 座席の奥行きが43cm以下の座席。
- シートベルトのバックル部が座席の中央からでている座席。
- 車両バックルの位置が高く、チャイルドシートを固定できない座席。
- エアバッグが装備されている座席。（サイドエアバッグのみの場合は使用できます。）
- 助手席には取付けしないでください。
- 3点式シートベルトで上下取付け部が共に巻取り式の座席。
- パッシブシートベルトのついた座席。（上記参照）
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません。）
- チャイルドシートを取付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万一の際乗員の安全が確保できません。）
- 極端なノケットタイプなどの座席。（取付けたチャイルドシートが安定しません。）
- 座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。
- その他、チャイルドシートを固定できない座席。



3 各部名称

ご使用前に、各部品がそろっていることを確かめください。

※使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。



付属品

- ヘッド/パッド
- ランバーサポート
- 取扱説明書
- お客様登録カード
- 製品保証書
- プライバシーシール

作業スペースの確保

- 安全に取付け作業を行うため、次のように作業スペースを確保してください。
- 1 取付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平坦な場所で行ってください。
- 2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。
- 3 車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。
- 4 車両シートベルトの高さ調節ができる場合は、最下段まで下げてください。
- 5 車両座席のヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてください。

4 4 お子さまの体重に合わせた使い方

お子さまの体重に合わせ、3つのモードで使用します。

- 体重が 9kg 以上 18kg 以下のお子さまには 「チャイルドモード」でご使用できます。
※身長のめやす：70～105cm※年齢のめやす：1才頃～4才頃
- 体重が 15kg 以上 25kg 以下のお子さまには 「ハイバックモード」でご使用できます。
※身長のめやす：98～120cm※年齢のめやす：3才頃～7才頃
- 体重が 22kg 以上 36kg 以下のお子さまには 「ブースターモード」でご使用できます。
※身長のめやす：117～145cm※年齢のめやす：6才頃～11才頃

**9kg～18kg
チャイルドモード**

**15kg～25kg
ハイバックモード**

お子さまに合わせてヘッドレストの高さを調整する

a アジャスタレバー (5) の奥側を押しながら、

b 左右両方 (2本) の幼児ベルト (2) を同時に手前に引き出す。

a バックル (4) の赤いボタンを押し、タンク (3) をはずす。

b 幼児ベルトを左右に開いてお子さまの座るスペースを確保する。

左右の幼児ベルト (2) の長さに余裕を持たせてから、ヘッドアジャスター (8) を引いた状態を保ったまま、お子さまの肩と同じ高さか、やや上から肩ベルトが出る位置になるようにヘッドレスト高さを調節する。

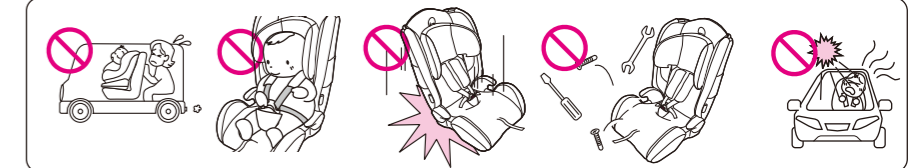
お子さまを近づけないようにし、指などをはさまないように注意してください。

**22kg～36kg
ブースターモード**

▲ 「身長のめやす」や「年齢のめやす」は、あくまでもめやすですので、もし身長や年齢が上記条件を満たしている場合でも「体重条件」を満たしていないお子さまは、そのモードではご使用できません。

5 5 ご使用上の警告/注意

- ▲ **警告** 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。
 - チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。
 - 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
 - お子さまの不定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
 - 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。
 - チャイルドシートのバックルをはずしたままのご使用は危険ですので絶対におやめください。
 - エアバッグが装備されている座席には使用しないでください。作動したエアバッグにより、大きな衝撃を受け危険です。
 - 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取付けしないでください。
 - お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタンクプレートがバックルからはずれていないことを確認してください。
 - お子さまを車内にひとり放置することはおやめください。
 - 保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
 - 背もたれのみでは使用しないでください。
 - 衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくとも絶対に使用しないでください。
 - 運転中にチャイルドシートの操作（ベルト調節/角度調節などの操作）をしないでください。
 - お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
 - チャイルドシートを改造したり、カバー類・クッション類は取りはずして使用しないでください。
 - 1時間以上連続して使用しないでください。
 - シートカバーをはずしたまま使用しないでください。
 - 専用カバー以外は使用しないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。）
 - 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取付けしないでください。しっかりと固定されません。
 - チャイルドシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。



▲ 注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。（確認は停車し、安全な状態で行ってください。）
- チャイルドシートを取付ける際は、取付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。
- チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取付け・取はずしはおやめください。
- 車両シートベルト及びチャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。
- お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がった時、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- チャイルドシートは車両以外での使用をおやめください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）がはさまれないようにチャイルドシートを取付けてください。
- お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートの端に体重をかけると、転倒してケガなどを起こすおそれがあります。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。
- 一部の商品についているヘッド/パッド、またはランバーサポートは、体型により不快感を感じる様であれば、使用を中止して下さい。



